

東港金属株式会社 千葉工場
LCA(2022年12月)



1.目的及び調査範囲の設定

1.1目的の設定

①意図する用途

報告書に記載し、一般に公開

②実施する理由

東港金属株式会社 千葉工場の環境影響を明らかにするため

1.2調査範囲の設定

①調査対象

東港金属株式会社 千葉工場

②機能

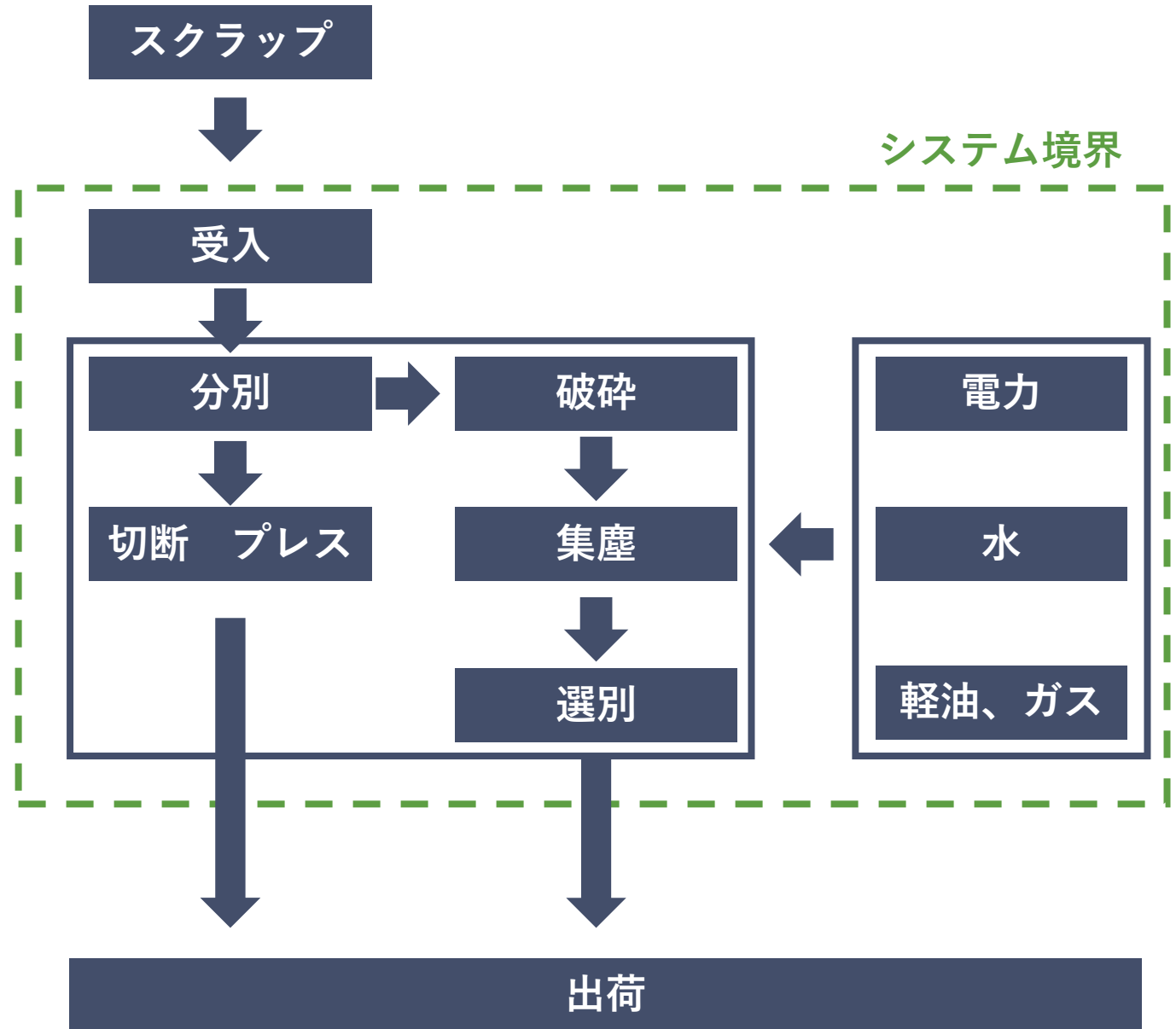
主破碎 : 1,000馬力

選別方法: 磁力選別、カラー選別、手選別など

③システム境界

右図 (千葉工場で生産される一部を対象)

※インベントリ分析には、一般社団法人 サステイナビリティ
技術設計機構「EZS3環境帳簿」を用いる。



2.インベントリ分析（2022年12月）

2.1データの収集

発生

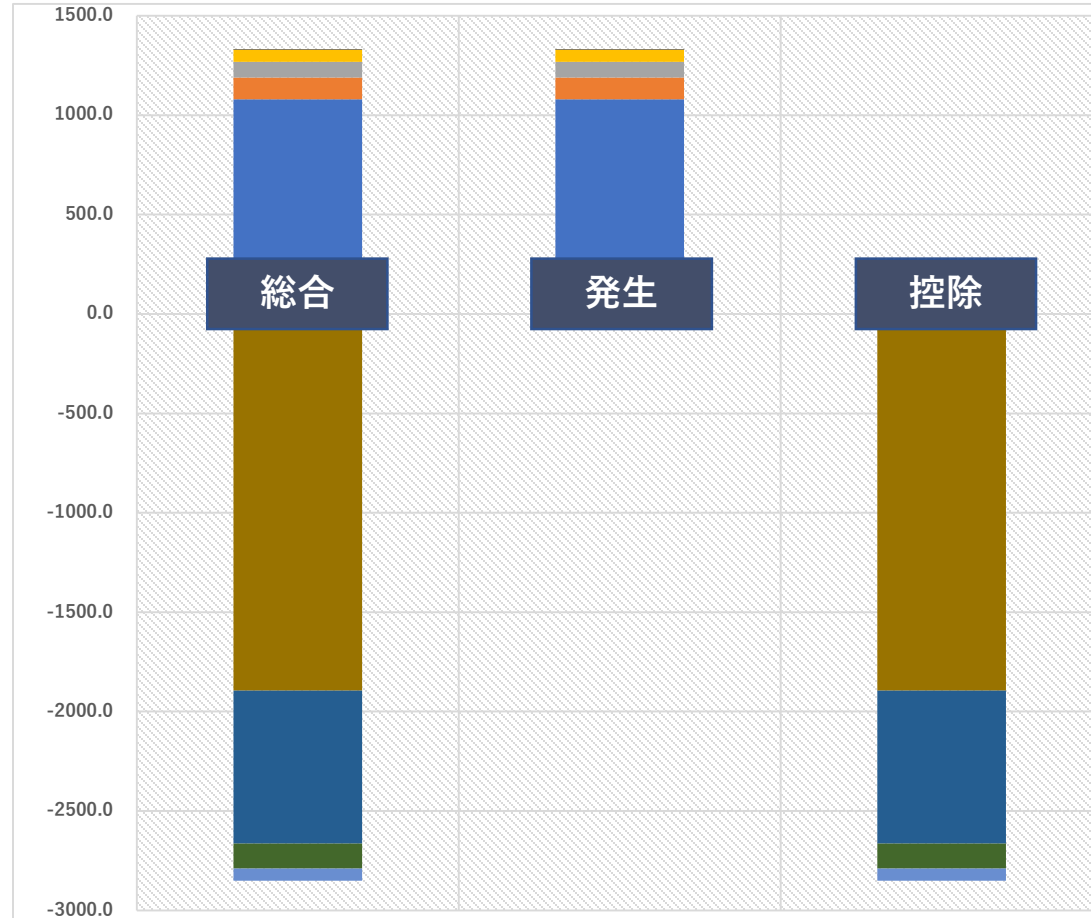
入出力項目		収集データ	
入力	電力	228,860	kWh
入力	軽油	21,826	L
入力	酸素	126	m ³
入力	プロパンガス	10	m ³
入力	都市ガス	23	m ³
入力	炭酸ガス	0	m ³
入力	水	511	m ³
入力	工場設備	19,663	k¥
出力	ダスト	64,059	k¥

控除（生産されたスクラップ量）

入出力項目		収集データ	
出力	鉄	2,132,070	kg
出力	ステンレス	43,914	kg
出力	アルミ	103,473	kg
出力	MIXメタル	207,292	kg
出力	モーターコア	10,086	kg
出力	金銀銅滓	16,134	kg
出力	SSピッキング	3,723	kg

※出力項目は平均単価、処分費を掛け合わせて算出する。

2.2 インベントリ分析結果



二酸化炭素排出の大部分は、ダストによるものであることが分かった。
試験的取り組み且つ月間報告の為、影響評価と解釈は省く。

品目	二酸化炭素発生量・ 控除量 (トン)
ダスト	1,080.60
電力	109.62
軽油	77.76
工場設備	60.94
水	2.21
都市ガス	0.08
プロパンガス	0.04
酸素	0.01
炭酸ガス	0.00
再生用: 鋳物用アルミスクラップ	-1,895.25
再生用: 棒鋼用鉄スクラップ	-769.36
再生用: ステンレス	-125.63
再生用: MIX銅	-60.96

2022年12月、東港金属株式会社の千葉工場における
二酸化炭素発生量は1,331.3t、控除量は2,851.2tです。



杉の木約202,435本が1年間に吸収する二酸化炭素量の削減に貢献しました。

家族4人で東京－長崎を2,851回往復したときの排出量削減に貢献しました。



東港金属株式会社は引き続き資源循環の最大化に努め、
環境保全活動に取り組んで参ります。